1 取引のお申込み

ご利用に際しましては、つくばi-Laboratoryへご連絡下さい。担当者がお伺いし、ご説明・ご相談させていただきます。
ご連絡の際は、裏表紙をご参照下さい。

2 検査のご依頼

検査のご依頼は、検査項目の種類により異なりますので、依頼項目に応じた依頼方法でご依頼下さい。24時間受付いたします。

【検査依頼方法】

1)電子依頼による方法

●当ラボは、保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS臨床検査交換規約」に基づく情報システムによる電子依頼を奨励しています。
データ交換の詳細につきましては、当ラボ担当者との事前にお打合せのうえ、ご依頼施設の情報システムから予め取り決めたデータ形式により電子依頼情報をご提出下さい。

●当ラボの運用している臨床検査コード体系は、日本臨床検査医学会の制定するJLAC10コードを採用しています。

2)検査依頼書による方法

●当ラボ所定の依頼書に、「患者名」「担当医名」「依頼月日」等、検査実施に必要な事項を記載下さい。

●ご依頼検査項目は、該当箇所にご指示下さい。

【検体の提出方法】

1)検体ラベル

●「登録番号」「患者名」「採取日」「材料」等、検査実施に必要な事項の記載されたラベルを容器にお貼り下さい。

2)検体採取条件

●本案内書をご参照の上、所定の容器に必要量を採取して下さい。
※容器の種類に関しては、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。
※およその採取量・提出料は各検査項目をご参照下さい。

3)検体保存条件

●検体採取後、提出されるまでの間、所定の保存条件を遵守して下さい。

●保存条件に関しては、本案内書の「保存方法」欄をご参照下さい。

4)検体提出条件

●血清分離の要否等、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。本案内書の「提出量」「容器」「備考」の各欄を併せてご参照下さい。

3 検体の受領・輸送

1)検体の受領

●検体の集配に関しては、予め申し合わせの上、ご指定の日時・場所へお伺いいたします。

検体受領日(　　)

検体受領場所(　　)

2)検体の輸送

●お預かりした検体は、厳密な管理の下に当ラボ(つくばi-Laboratory)に搬入致します。

平均搬送時間(　　)

※一部の検査につきましては、当ラボ責任管理の下に、LSIメディエンスに再委託致します。なお、当ラボよりLSIメディエンスへの平均搬送時間は1.5時間となっております。

4 検体の採取・取り扱い

【血液】

1)採血時間

●一般的に早朝安静空腹時を原則としています。

2)検体採取

血液:当ラボ指定の抗凝固剤入りの採血容器にて採血後、転倒混和させ、特に指定がない場合は、室温および冷蔵保存の場合はそのままで、凍結保存の場合は、指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。

血清:特に指定が無い場合は、採血後室温保存し、凝固を確認後3,000rpm、10～15分間遠心分離操作をして下さい。
遠心分離後、上清を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。
※必要量の3倍量を目安に採血して下さい。

血漿:特に指定が無い場合は、指定の抗凝固剤入りの採血容器にて採血後、転倒混和させ3,000rpm、10～15分間遠心分離操作をして下さい。
遠心分離後、上清を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。
※検査項目により、採取方法、保存条件が異なりますので、各検査項目の「備考」欄および保存条件、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。
※必要量の3倍量を目安に採血して下さい。

3)注意事項

採血時(真空採血の場合)

●容器の規定採取量より少ない場合、容器内部が陰圧状態のままとなり、溶血を引き起こす原因となりますので、必ず指定量を採取して下さい。

採血時(シリンジ採血の場合)

●シリンジから採血針を外し、採血管の側面に沿わせて注入して下さい。

溶血を回避するために

●十分に乾燥した採血容器をご使用下さい。
●採血時に無理な圧力や泡立ちを避けて下さい。
●物理的刺激(極度の高温や低温、振動等)を避けて下さい。

【尿】

1)部分尿

●採尿容器に尿を採取して、必要量を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。
※検査項目により、採尿時間を指定している場合がありますので、各検査項目の「備考」欄および保存条件、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。

2)24時間蓄尿

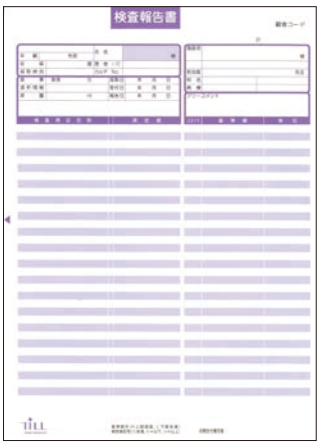
●蓄尿の間は、蓄尿容器に蓋をして冷暗所にて保存して下さい。蓄尿終了後、蓄尿量を測定し、よく混和させ必要量を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。
※防腐・安定性等の目的で、蓄尿開始時に添加剤を必要とする場合がありますので、各検査項目の「備考」欄をご参照下さい。

5 所要日数

●ご報告にかかる所要日数につきましては、検体をお預かりした当日を起算日として、先生にご報告できるまでの日数を記載しています。
●依頼検査項目の組み合わせにより、所要日数の長い項目に準ずることがあります。
●再検査の場合は、さらに若干の日数を要することがあります。

6 検査結果のご報告

●検査結果は、当ラボ所定の報告書にてお届け致します。
●当ラボは、保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS臨床検査交換規約」に基づく情報システムによる電子報告を奨励しています。報告書とは別に、検査成績は電子情報にて迅速なご報告が可能です。
●至急を要する検査結果は、FAXでご報告致します。
●本案内書で特に指定した緊急項目においては異常データを示した場合は、測定後速やかにFAXにて報告致します。
※報告基準につきましては、13ページをご参照下さい。



7 再検査

●当ラボの再検査基準に基づき、再検査を致します。
●最小必要検体量にてご依頼の場合、量不足のため再検査に応じられないことがあります。

8 検体の保管

●検査済み検体は、お客様との特段の取り決めがない限り当ラボ所定の保管期限後、適正な方法にて廃棄致します。なお、プール化および匿名化が可能なものにつきましては、個人情報保護法およびガイドラインを遵守した上で検査精度維持、向上等の目的で使用することがあります。

9 検査についてのお問い合わせ

検査内容等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘につきましては、当ラボ担当者にお申し付け下さい。

10 料金のご請求とお支払い方法

●請求書は1ヶ月分をまとめてお届け致します。お支払方法は契約にしたがってお願い致します。
●請求書の検査項目名は当社所定の「検査略称」によって記載されますので、ご了承下さい。
●お支払いはなるべく銀行口座振替または振込にてお願い致します。
口座振替をご利用いただく場合、月毎に振替通知書をお届け致します。なお、銀行振込の場合は、振込金受取書をもちまして、領収書に代えさせていただきます。領収書のご要望がございましたら、その旨、担当者にお申し付け下さい。

11 本文の記載内容について

1)検査項目名称

既に日本語化しているドイツ語はそのままとし、それ以外のものはアメリカ英語読みに従いました。但し、アイソザイムのようにほぼ日本語化している検査項目名称については通例に従いました。また、略称が通例化しているものは、略号をもって検査項目名称としました。

2)「保存」欄の記号

提出材料の保存条件です(採取した材料そのものの保存条件ではありません)。
検査項目によっては、検査成績が保存状態の影響を明らかに受けるものもありますので、お取扱いにご注意下さい。

凍結 必ず凍結保存して下さい。凍結温度指定のあるものは、その旨を記載致します。
なお、凍結指定の項目については原則として単独検体での出検をお願い致します。

冷蔵 4℃前後で保存をして下さい。また、数日以上にわたって保存される場合は、凍結して頂くようお願い致します。
なお、凍結不可の材料については、その旨記載致します。

室温 室温保存して下さい(20℃前後)。

遮光 直射日光または蛍光灯、紫外線を避けて保存して下さい。

3)「容器」欄の番号

検体採取および提出時に用いる容器を番号にて表示しております。
詳細は、巻末の容器一覧表をご参照下さい。

4)「基準値」欄の単位記号

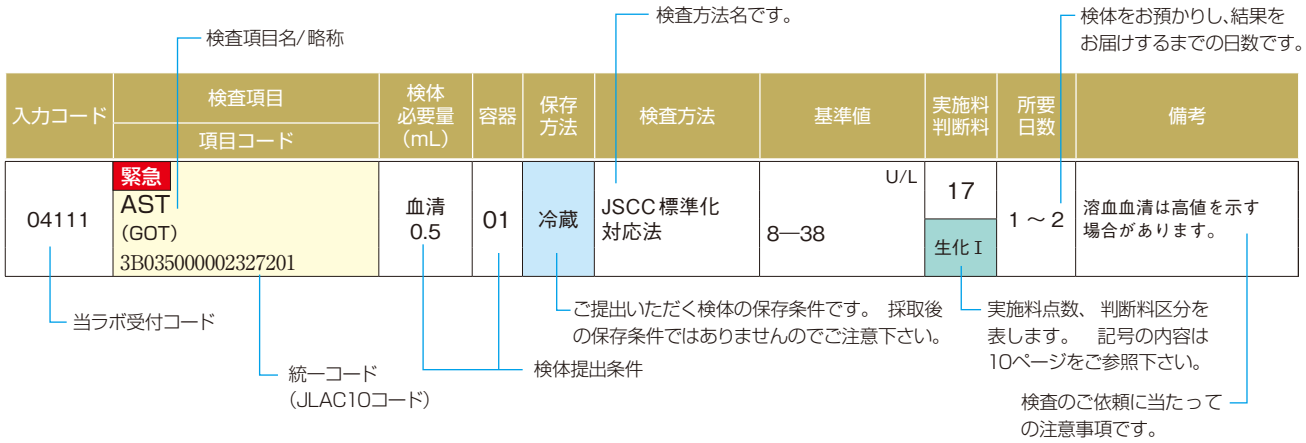
L	liter (=1,000ml)	mmol	millimole (=0.001mol)
dL	deciliter (=100ml)	μmol	micromole (=0.001mmol)
mL	milliliter	nmol	nanomole (=0.001 μmol)
mm^3	cubicmillimeter	pmol	picomole (=0.001nmol)
μ^3	cubicmicron	fmol	femtomole (=0.001pmol)
g	gram	mEq	milli Equivalent
mg	milligram (=0.001g)	Meq.	mega Equivalent
μg	microgram (=0.001mg)	FE	Fibrinogen Equivalent
ng	nanogram (=0.001 μg)	BCE	Bone Collagen Equivalent
pg	picogram (=0.001ng)	LGE	Log Genome Equivalent
U	Unit	mOsm	milli Osmole
UA	Allergen Unit	sec	second
mU	milli Unit (0.001U)	min	minute
μU	micro Unit (0.001mU)	h	hour
IU	International Unit	%	percent
ISU	Internal Standard Unit	‰	permill
AU	Arbitrary Unit	SI	Stimulation Index
BU	Bethesda Unit	cpm	count per minute
CU	Casein Unit	RBC	Red Blood Cell
RLU	Relative Light Unit		
R.U.	RPR Units		
T.U.	Titer Units		

5)検査材料に関する主な用語

材料	概要
～加血液	採血後速やかに添加剤を混和した血液を表します。 添加剤の種類により、「EDTA加血液」、「ヘパリン加血液」、「クエン酸加血液」、「NaF加血液」等と表示致します。 ※所定の添加剤入り容器に血液を採取して下さい。
～血漿	採血後速やかに添加剤を混和し、遠心分離によって得られた血漿を表します。 添加剤の種類により、「EDTA血漿」、「ヘパリン血漿」、「クエン酸血漿」、「NaF血漿」等と表示致します。 なお、単に「血漿」とあるものについては、「備考」欄に添加剤の種類を別記しております。
血清	採血後、血餅の収縮を待って遠心分離して得られた上清を表します。 特に添加剤を用いる必要のある場合は、その旨「備考」欄に記載しております。
尿	原則として自然排尿された尿を表します。なお、「蓄尿」を要する場合、「備考」欄に使用する防腐剤の種類を別記しております。 ①普通尿の場合:新鮮尿を清潔な乾燥した容器に直接排尿するか、携帯便器に排尿させ、指定の検体容器に移し替えます。 ②中間尿の場合:放尿開始後、最初は便器に排尿し、排尿半ばに達した頃、採尿容器に放尿します。 ③無菌尿の場合:男女とも陰部を消毒液で洗浄しておき、中間尿を採尿します。

12 本文記載例

本文では、検体必要量、検査方法、基準値、実施料・判断料、検査のご依頼に当たって注意いただきたい事項を表記してあります。
下記の例をご参照の上、正確な検体の採取にご協力下さい。



※容器の取り扱いについては下記の例をご参照下さい。
また、取り扱い方法に条件がある項目もありますので、「備考」欄または、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。

【例1】検体提出条件が血清である場合

検体必要量(mL)	容器
血清 0.5	01

1)汎用容器(01)に血液を採取し、遠心分離操作後、そのままご提出下さい。※血清または血漿の場合、必要量 の約3倍量を目安に血液を採取して下さい。
2)採取・提出とも同一容器(01)のため、別容器への移し替えは不要です。

【例2】添加剤入り容器でご提出いただく場合

検体必要量(mL)	容器
EDTA 加血液 2	13

1)当ラボ専用容器(13)に血液2.0mLを採取し、転倒混和の上、そのままご提出下さい。
2)採取・提出とも同一容器(13)のため、別容器への移し替えは不要です。

【例3】添加剤入り容器に採取後、遠心分離して上清をご提出いただく場合

検体必要量(mL)	容器
EDTA 血漿 0.3	14 ⇩ 02

1)当ラボ専用容器(14)に血液を採取し、遠心分離操作後、血漿0.3mLを別容器(02)に移し替えてご提出下さい。
※血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取して下さい。

検査法の略号					
CF	補体結合試験	LC-MS/MS	タンデムMS法	RPLA	逆受身ラテックス凝集試験
CLEIA	化学発光酵素免疫測定法	ICP-MS	誘導結合プラズマ質量分析法	RRA	ラジオレセプターアッセイ法
CLIA	化学発光免疫測定法	IR	赤外吸収スペクトロメトリー法	SBPA	結合蛋白サンドイッチ測定法
CPBA	競合性蛋白結合分析法	IRMA	免疫放射定量法	SRID	免疫拡散法
dRVVT	希釈ラッセル蛇毒試験法	LA	ラテックス凝集比濁法	TIA	免疫比濁法
ECLIA	電気化学発光免疫測定法	LPIA	ラテックス近赤外比濁法	TMA	核酸増幅法
EIA	酵素免疫測定法	MEIA	酵素免疫測定法	UV	紫外部吸光光度分析法
EMIT	酵素免疫測定法	MPHA	混合受身赤血球凝集試験		
FAT	蛍光抗体法	NT	中和試験		
FEIA	蛍光酵素免疫測定法	PA	粒子凝集試験		
FISH	蛍光in situハイブリダイゼーション	PCR	ポリメラーゼ連鎖反応		
GC	ガスクロマトグラフィー法	PHA	受身赤血球凝集試験		
GC-MS	ガスクロマトグラフィー・マススペクトロメトリー法	REA	ラジオエンザイムアッセイ法		
HEIA	ホモジニアスエンザイムイムノアッセイ法	RFLP	制限酵素断片長多型		
HI	赤血球凝集抑制試験	RIA	ラジオイムノアッセイ法		
HPLC	高速液体クロマトグラフィー法	RPHA	逆受身赤血球凝集試験		

13 検体検査料

●「実施料」欄は、2023年4月現在の検体検査実施料に準じております。
●検体検査判断料、病理学的検査診断・判断料の区分は「実施料」欄に下記の通り併記してあります。
●「実施料」欄中、検体検査以外の生体検査、特定薬剤治療管理料などは、点数に〔　〕を付してあります。

■ 検体検査判断料

①尿・糞便等検査判断料区分…… 34点　尿便
②遺伝子関連・染色体検査判断料区分… 100点　遺染
③血液学的検査判断料区分……125点　血液
④生化学的検査（Ⅰ）判断料区分…… 144点　生Ⅰ
⑤生化学的検査（Ⅱ）判断料区分…… 144点　生Ⅱ
⑥免疫学的検査判断料区分……144点　免疫
⑦微生物学的検査判断料区分……150点　微生
⑧病理診断・判断料区分　病理
　組織診断料……520点
　細胞診断料……200点
　病理判断料……130点
⑨検体検査判断料なし　ー

●下記（適用項目）に掲げた検査を、1回に採取した材料を用いて複数行った場合、その点数は、項目数に応じて実施料欄に示したように算定されます。

■ 生化学的検査Ⅰ（血液化学検査）

項目名			
総ビリルビン	直接ビリルビン または抱合型ビリルビン	総蛋白	アルブミン
尿素窒素	クレアチニン	尿酸	アルカリホスファターゼ (ALP)
コリンエステラーゼ(ChE)	γ-グルタミルトランス フェラーゼ（γ-GT）	中性脂肪	ナトリウムおよび クロール
カリウム	カルシウム	マグネシウム	クレアチン
グルコース	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	アミラーゼ	ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)
クレアチンキナーゼ(CK)	アルドラーゼ	遊離コレステロール	鉄(Fe)
血中ケトン体・糖・クロール検査（試験紙法・アンプル法・固定化酵素電極によるもの）	不飽和鉄結合能 (UIBC)（比色法）	総鉄結合能(TIBC)（比色法）	リン脂質
HDL-コレステロール	無機リンおよびリン酸	総コレステロール	アスパラギン酸アミノトランス フェラーゼ(AST)
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	LDL-コレステロール	蛋白分画	銅(Cu)
リパーゼ	イオン化カルシウム	マンガン(Mn)	

項目数	実施料
5項目以上7項目以下	93
8項目又は9項目	99
10項目以上	106

■ 生化学的検査Ⅱ（内分泌検査）

項目名			
成長ホルモン（GH）	卵胞刺激ホルモン（FSH）	C-ペプチド（CPR）	黄体形成ホルモン（LH）
アルドステロン	テストステロン	遊離サイロキシン（FT_4）	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体（抗GAD抗体）
遊離トリヨードサイロニン（FT_3）	コルチゾール	サイロキシン結合グロブリン（TBG）	サイログロブリン
脳性Na利尿ペプチド（BNP）	サイロキシン結合能（TBC）	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント（NT-proBNP）	カルシトニン
ヒト胎盤性ラクトーゲン（HPL）	ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）定量	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット（HCG-β）	ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）半定量
グルカゴン	Ⅰ型コラーゲン架橋N-テロペプチド（NTx）	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ（TRACP-5b）	プロジェステロン
骨型アルカリホスファターゼ（BAP）	遊離テストステロン	低カルボキシル化オステオカルシン（ucOC）	インタクトⅠ型プロコラーゲン-N-プロペプチド（Intact PⅠNP）
オステオカルシン（OC）	Ⅰ型プロコラーゲン-N-プロペプチド（PⅠNP）	Ⅰ型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体（β-CTX）（尿）	セクレチン
低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）半定量	Ⅰ型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体（β-CTX）	サイクリックAMP（cAMP）	エストリオール（E_3）
エストロゲン半定量	エストロゲン定量	副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント（C-PTHrP）	副甲状腺ホルモン（PTH）
カテコールアミン分画	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体（DHEA-S）	エストラジオール（E_2）	副甲状腺ホルモン関連蛋白（PTHrP）
デオキシピリジノリン（DPD）（尿）	17-ケトジェニックステロイド（17-KGS）	副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）	カテコールアミン
17-ケトステロイド分画（17-KS分画）	エリスロポエチン	17α-ヒドロキシプロゲステロン（17α-OHP）	抗IA-2抗体
プレグナンジオール	17-ケトジェニックステロイド分画（17-KGS分画）	メタネフリン	心房性Na利尿ペプチド（ANP）
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	ソマトメジンC	抗利尿ホルモン（ADH）	プレグナントリオール
ノルメタネフリン	インスリン様成長因子結合蛋白3型（IGFBP-3）		

項目数	実施料
3項目以上5項目以下	410
6項目又は7項目	623
8項目以上	900

■ 腫瘍マーカー

項目名			
癌胎児性抗原（CEA）	α-フェトプロテイン（AFP）	組織ポリペプタイド抗原（TPA）	扁平上皮癌関連抗原（SCC抗原）
DUPAN-2	NCC-ST-439	CA15-3	前立腺酸ホスファターゼ抗原（PAP）
エラスターゼ1	前立腺特異抗原（PSA）	CA19-9	CA72-4
SPan-1	シアリルTn抗原（STN）	神経特異エノラーゼ（NSE）	塩基性フェトプロテイン（BFP）
CA50	PIVKA-Ⅱ半定量	PIVKA-Ⅱ定量	核マトリックスプロテイン22（NMP22）定量（尿）
シアリルLe^x-i抗原（SLX）	CA125	核マトリックスプロテイン22（NMP22）定性（尿）	サイトケラチン8·18（尿）
遊離型PSA比（PSA F/T比）	BCA225	抗p53抗体	シアリルLe^x抗原（CSLEX）
Ⅰ型プロコラーゲン-C-プロペプチド（PⅠCP）	Ⅰ型コラーゲン-C-テロペプチド（ⅠCTP）	SP1	サイトケラチン19フラグメント（シフラ）
ガストリン放出ペプチド前駆体（ProGRP）	CA54/61	癌関連ガラクトース転移酵素（GAT）	遊離型フコース（尿）
CA602	α-フェトプロテインレクチン分画（AFP-L3%分画）	γ-セミノプロテイン（γ-SM）	CA130
ヒト絨毛性ゴナドトロピンβ分画コアフラグメント（HCGβ-CF）（尿）	膵癌胎児性抗原（POA）	癌胎児性抗原（CEA）定性（乳頭分泌液）	癌胎児性抗原（CEA）半定量（乳頭分泌液）
HER2蛋白（乳頭分泌液）	HER2蛋白	可溶性インターロイキン-2レセプター（sIL-2R）	

項目数	実施料
2項目	230
3項目	290
4項目以上	396

■ 肝炎ウイルス関連検査

項目名			
HBs抗原	HBs抗体	HBe抗原	HBe抗体
HCV抗体定性・定量	HCVコア蛋白	HBc抗体半定量・定量	HA-IgM抗体
HA抗体	HBc-IgM抗体	HCVコア抗体	HCV構造蛋白および非構造蛋白抗体定性
HCV構造蛋白および非構造蛋白抗体半定量	HE-IgA抗体定性	HCV血清群別判定	HBVコア関連抗原（HBcrAg）
デルタ肝炎ウイルス抗体	HCV特異抗体価	HBVジェノタイプ判定	

項目数	実施料
3項目	290
4項目	360
5項目以上	425

■ 自己抗体検査

項目名			
抗Jo-1抗体定性	抗Jo-1抗体半定量	抗Jo-1抗体定量	抗サイログロブリン抗体
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	抗RNP抗体定性	抗RNP抗体半定量	抗RNP抗体定量
抗Sm抗体定性	抗Sm抗体半定量	抗Sm抗体定量	抗SS-B/La抗体定性
抗SS-B/La抗体半定量	抗SS-B/La抗体定量	抗Scl-70抗体定性	抗Scl-70抗体半定量
抗Scl-70l抗体定量	抗SS-A/Ro抗体定性	抗SS-A/Ro抗体半定量	抗SS-A/Ro抗体定量
C1q結合免疫複合体	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	抗ARS抗体	

項目数	実施料
2項目	320
3項目以上	490

■ 出血・凝固検査

項目名			
フィブリノゲン分解産物（FgDP）	Dダイマー定性	プラスミンインヒビター（アンチプラスミン）	von Willebran d因子（VWF）活性
Dダイマー半定量	α2マクログロブリン	PIVKA -Ⅱ	Dダイマー
凝固因子インヒビター	von Willebran d因子（VWF）抗原	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体（PIC）	プロテインS活性
プロテインS抗原	β-トロンボグロブリン（β-TG）	血小板第4因子（PF_4）	プロトロンビンフラグメントF1+2
トロンビン・アンチトロンビン複合体（TAT）	トロンボモジュリン	フィブリンモノマー複合体	凝固因子（第Ⅱ、第Ⅴ、第Ⅶ、第Ⅷ、第Ⅸ、第Ⅹ、第Ⅺ、第Ⅻ、第XIII）
プロテインC抗原	tPA・PAI-1複合体	プロテインC活性	フィブリノペプチド

項目数	実施料
3項目又は4項目	530
5項目以上	722

14 緊急報告対象項目

●緊急対象項目については、「検査項目」欄に下記の通り併記しております。
●下記の検査項目で、緊急異常値が検出された場合は、測定後速やかにFAXでご報告申し上げます。

入力コード	検査項目 項目コード
04111	緊急 AST (GOT) 3B035000002327201

■ 緊急異常値

検査項目名	緊急報告基準値	備考
白血球数(WBC)	1,500 以下, 20,000 以上(/μl)	※1
ヘモグロビン(Hb)	5.0 以下, 20.0 以上(g/dL)	※1
血小板数(PLT)	3万 以下, 100万 以上(/μL)	
白血球像	芽球出現, 異型細胞多数出現	※2
	赤芽球多数出現(15/100以上)	
プロトロンビン時間-INR	2.00 以上	
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	60秒 以上	
血中アンモニア(NH3)	400 以上(μg/dL)	
グルコース(空腹時)	50 以下, 500 以上(mg/dL)	
AST (GOT)	500 以上(U/L)	
ALT (GPT)	500 以上(U/L)	
LD (IFCC)	1,000 以上(U/L)	
血清アミラーゼ(S-AMY)	1,000 以上(U/L)	
総ビリルビン(T-BIL)	12.0 以上(mg/dL)	
ナトリウム(Na)	120 以下, 160 以上(mEq/L)	
カリウム(K)	2.5 以下, 7.0 以上(mEq/L)	
カルシウム(Ca)	6.0 以下, 12.0 以上(mg/dL)	
尿素窒素(UN)	80.0 以上(mg/dL)	※1
総蛋白(TP)	3.5 以下, 10.0 以上(g/dL)	
尿酸(UA)	2.0 以下, 12.0 以上(mg/dL)	※1
クレアチニン(CRE)	8.00 以上(mg/dL)	※1
CK (CPK)	1,000 以上(U/L)	
ALP (IFCC)	500 以上(U/L)	
CRP	30.00 以上(mg/dL)	

※1：透析患者検体は除外
※2：初診者より検出した場合のみ